

市営住宅入居申込書

令和 年 月 日

鎌ヶ谷市長 様

〒
住 所

ふりがな
申込者
氏 名

市営住宅に入居したいので、次のとおり入居の申込みをします。
なお、申込内容と事実が相違しているときは、失格とされても異議ありません。
また、私又は同居しようとする者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律
(平成3年法律第77号) 第2条第6号に規定する暴力団員でないことを誓約します。

続柄	氏 名	生 年 月 日 (和暦)	年 齢	備 考 (外国人の場合国籍を記入)
同居予定世帯員	本人	・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
合計	人			
遠隔地扶養親族者		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
電話番号	自 宅	()	希 望 住 宅 名	
	日中連絡の つく連絡先	()	長谷津F 栗野1 鎌ヶ谷 長谷津E 栗野2 初富 長谷津D	

鎌ヶ谷市市営住宅入居申込受付票

受付 番号	希 望 住 宅 名	申 込 者 氏 名
	鎌ヶ谷 ・ 長谷津F ・ E ・ D 栗野1 ・ 栗野2 ・ 初富	

注1 遠隔地扶養親族者の欄には、同居予定世帯員に扶養され、かつ、別居している者を記入してください。
注2 申込者又は同居しようとする者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員でないことを確認するため、鎌ヶ谷市市営住宅設置及び管理条例第65条第1項の規定により、鎌ヶ谷警察署長に意見を聴くことがあります。

市営住宅入居調書

鎌ヶ谷市長 様

令和 年 月 日

フリガナ	
申込者氏名	

本籍地	〒	自宅TEL	
現住所	〒	携 帯	

◆ 申込者及びその家族の状況

次のA・B欄は市営住宅の入居を許可された場合、その住宅に入居する者を現在の居住状況によってA・Bに区分し、各該当欄にそれぞれ記入してください。
入居を決定された場合は、この欄に記入した者全部の入居を必要とし、記入のない者の入居は認められません。

A 申込者及び現在申込者と同居している者

氏 名	続柄	年齢	勤務先・学校等の名称	勤務先・学校等の所在地	勤務先・学校等の電話番号 (個人の携帯番号可)
	本人				

B 現在申込者と別居しているが、入居決定後同居する者(婚姻予定者を含む。)

氏 名	続柄	生年月日 (和暦)	勤務先の名称等	勤務先等の所在地	勤務先等の電話番号
			別居先現住所		
			別居先現住所		

C 遠隔地扶養親族者(現在申込者と同居か別居している者のうち入居はしないが扶養している者)

氏 名	続柄	生年月日 (和暦)	勤務先の名称等	勤務先等の所在地	勤務先等の電話番号
			現住所		
			現住所		

(裏)

申込者の現在の住居の状況(以下該当のものを○で囲み、[]欄には必要事項を正確に記入してください。)

現住所案内図:

別添住宅地図の写しのとおり

住宅平面図： 申込者の現在の住居の居間、台所、便所、玄関、押入等の間取りの概略を記載してください。

別紙調書2のとおり

住 宅 の 所 有 者	自 己 所 有 ・ 親 族 所 有 ・ 共 同 所 有 ・ 他 人 所 有 ・ そ の 他 []
住 宅 の 種 類	普 通 住 宅 ・ ア パー ト ・ 公 団 住 宅 ・ 社 宅 ・ 公 舎 ・ 公 営 住 宅 ・ そ の 他 []
住 宅 の 使 用 区 分	独 立 住 宅 ・ 共 同 住 宅 ・ 長 屋 ・ 間 借 ・ 同 居 ・ そ の 他 []
住 宅 の 構 造	木 造 ・ 軽 量 鉄 骨 ・ 鉄 筋 コ ン ク リート 造 ・ プレハブ 階 建
住 宅 の 規 模	建 築 面 積 [m ²] 延 床 面 積 [m ²] 居 室 面 積 [m ²]
住 宅 の 特 殊 性	台 所 (専 用 ・ 共 同) → (屋 内 ・ 屋 外) 便 所 (専 用 ・ 共 同) → (屋 内 ・ 屋 外) 台 所・便 所 が 共 同 の 場 合、家 主 又 は 他 の 家 族 の 部 屋 を 通 過 す る 必 要 の 有 無 (有 ・ 無)
非 住 宅 居 住	物 置、倉 庫 等 の 転 用 住 宅 に 居 住 し て い る。[年 以 上] 〔 状 況 を 具 体 的 に 記 載 し て く だ さ い。〕
老 朽 住 宅 居 住	老 朽 し て い る 建 物 に 居 住 し て い る。[造 年 建 設] 〔 状 況 を 具 体 的 に 記 載 し て く だ さ い。〕
家 賃	月 額 [円] 敷 金 [円] 権 利 金 [円] そ の 他 [円]
立 退 要 求 の 有 無	有 の 場 合 そ の 理 由 を 具 体 的 に 記 載 し て く だ さ い。 有 ・ 無 貸 主 の 証 明 貸 主 氏 名 印
遠 距 離 通 勤	通 勤 時 間 [時間 分 位] (市 外 居 住 者 の み 記 載 し て く だ さ い。)
婚 姻 予 定	令 和 年 月 日 (婚 姻 予 定 者 を 記 載 し て く だ さ い。)
過 去 の 申 込 回 数	初 め て ・ 過 去 回 (申 込 回 数 を 証 す る 書 類 を 提 示 し て く だ さ い。)

上記以外で、申込者が現に住宅に困窮していることを別紙 調書2 に記入してください。

(表)

調書 2

該当する各項目にご記入願います。

1) 世帯の状況についてお尋ねします。

チェック欄	世帯状況	概要
	母子世帯である・父子世帯である。	イ. 離婚が成立している ロ. 調定中 ハ. 別居中 ニ. 死別 ホ. 未婚 ヘ. 現在婚約中 ト. その他
	障がい者のいる世帯である。 ・本人 → ・家族の氏名 () → ・家族の氏名 () →	イ. 身体障がい ロ. 精神・知的障がい ハ. その他 イ. 身体障がい ロ. 精神・知的障がい ハ. その他 イ. 身体障がい ロ. 精神・知的障がい ハ. その他
	生活保護世帯である。	イ. 生活 ロ. 教育 ハ. 医療 ニ. 住宅 ホ. その他
	世帯員で婚姻予定はありますか。	イ. はい ロ. いいえ
	上記に該当しない世帯である。	

2) 収入についてお尋ねします。(該当するところに全員の氏名を記入してください。)

無職の場合は該当する状況に○をつけてください。

収入の種別	合計人数	入居予定者の氏名記入		
給与所得者	人	1人目)	2人目)	3人目)
年金所得者	人	1人目)	2人目)	3人目)
事業所得者	人	1人目)	2人目)	3人目)
学生	人	1人目)	2人目)	3人目)
無職	人	1人目) 1. 専業主婦 2. 高齢のため 3. 休職中 4. その他	2人目) 1. 専業主婦 2. 高齢のため 3. 休職中 4. その他	3人目) 1. 専業主婦 2. 高齢のため 3. 休職中 4. その他

3) 申し込み理由についてお尋ねします。(該当するところにチェックしてください。)

- ☐ 現在の家賃が高いから。
☐ 現在の住宅が狭いから。
☐ 現在の住宅環境が悪いから (交通の便が悪いから)。
☐ 家主から退去を請求されているから。
☐ その他 (具体的に記入してください)。

裏面もご記入下さい。

(裏)

- 4) 現在のお住まいの間取りについてお尋ねします。
記入例を参考に、平面図を記載してください。

部屋数	室
台所	畳
部屋 1	畳
部屋 2	畳
部屋 3	畳
部屋 4	畳
部屋 5	畳
合計	畳

※部屋の畳数については、
正確に記入してください。
不明確な場合は貸主に確認
する等正確な記入に努めて
ください。

【記入例】



部屋数	4 室
台所	10畳
部屋1	7畳
部屋2	6畳
部屋3	6畳
部屋4	畳
部屋5	畳
合計	29 畳

担当者使用欄 ※以下、記入の必要ありません。

申込者				区分	今回申し込み団地						世帯裁量	受付番号	
				一般 老人 障がい	☐ 鎌ヶ谷 ☐ 初富	☐ 長谷津F ☐ 長谷津E ☐ 長谷津D	☐ 栗野1 ☐ 栗野2					原則 高齢・障がい 子育て	
過去の申し込	H・R	第	回	一・老・障	K	N F	N E	N D	A 1	A 2	H	原・裁	No.
	H・R	第	回	一・老・障	K	N F	N E	N D	A 1	A 2	H	原・裁	No.
	H・R	第	回	一・老・障	K	N F	N E	N D	A 1	A 2	H	原・裁	No.
	H・R	第	回	一・老・障	K	N F	N E	N D	A 1	A 2	H	原・裁	No.
	H・R	第	回	一・老・障	K	N F	N E	N D	A 1	A 2	H	原・裁	No.

【月収額の計算】※募集案内の月収額の計算例を参考に記載してください。

所得金額は入居資格審査時に課税証明書等により照合しますから、「募集案内」をよく読んで正確に計算してください。

総収入金額 （申し込み前年 1 年間の総収入） 所得者が 2 人以上いる場合はそれぞれの金額を記入し、 合計する必要はありません。	円

A. 所得金額 給与所得の場合は給与所得控除後の金額です。所得者が 2 人以上いる場合は合計してください。		① 円
基礎控除	給与所得及び公的年金に係る雑所得の合計額 10 万円以上→ $100,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$ 10 万円未満の場合はその額→	記入欄 ②
親族控除	$380,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$	③
老人扶養 控除	$100,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$	④
特別扶養 親族控除	$250,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$	⑤
ひとり親 控除	所得金額から②により控除した残額 35 万円以上の人は 350,000 円→ 35 万円未満の人はその残額→	⑥
寡婦控除	所得金額から②により控除した残額 27 万円以上の人は 270,000 円→ 27 万円未満の人はその残額→	⑦
障がい者 控除	障がい者 $270,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$	⑧
	特別障がい者 $400,000 \text{ 円} \times (\quad) \text{ 人} =$	⑨
B. 控除合計金額 ②から⑨までの金額を合計してください。		⑩ 円
控除後の所得金額 (計算) ① − ⑩ =		⑪ 円
C. 収入基準月収額 (計算) ⑪ ÷ 12 =		⑫ 円